

2018年度の教育活動等に対する学校評価書

2018年9月1日
社会福祉法人愛の園福祉会
幼保連携型認定こども園
マリヤこども園
園長 岸部 徳子

1. 保育の方針と目標

全ての人は例外なしに、「神によって創造された存在である」という理解に立って、神を愛し、自然を愛し、人間を尊ぶことが人間性の基礎であることの視点に立ち、以下のように基本方針を定め、これを実践し、具体化するために、乳幼児一人ひとりの主体性(自立性・自立心・自律性)を重んじ、社会性の芽生え(協調性・連帯性・責任意識)を育て、個性が伸びる創造性(興味・集中力・探求心)のある子どもを育成することを目標とする。

<基本方針>

1. 心の清い正直な人間(良心教育)
2. 心の豊かな明るい人間(情操教育)
3. 身体の丈夫な強い人間(健康教育)
4. 動作の機敏な人間(安全教育)

2. 2018年度の重点課題

1. 保育環境(乳児クラス)の見直しを行う
2. 食育年間計画を全体的に見直し、保育と給食室が一体となり実践する
3. 専門家の指導の下、歌唱・日舞・合奏の表現領域の充実を図る
4. 合唱・コンサート等にふれる体験を用意する(コール野ばら・八千代フェスティバルバンド・和太鼓)
5. 園内・外の研修を充実させ、特に法人で策定されたキャリアパスに対応した保育教育の指導の実践を目指す
6. 1号認定入園者を確保する
7. 完全週休2日制の体制作りをする
8. 地域に向けて必要とされる法人の役割りを担う為に、団地代表者との話し合いを通して、情報収集をし、次年度への課題を把握する

3. 自己評価結果とそれに対する学校関係者評価結果

(※評価は、A(80%) B(70%) C(60%) D(やってはみたが成果としては50%) E(全く手つかず)で表している。)

[目的]

- 学校(こども園)として組織的・継続的な改善を図ること
- 学校(こども園)・家庭・地域の連携協力による園づくりを進めること
- 一定水準簿教育の質を保証し、その向上を図ること

[評価]

- ① 自己評価は、当こども園の多職種によって(保育教諭、栄養士、看護師、事務職員、一時預かり専任者等)行い、設定した目標や計画に照らし、その目標の達成状況や取組みの状況について評価を行う。

② 学校評価関係者評価はマリヤこども園に在籍する園児の保護者代表と姉妹園の園長他、地域住民等が自己評価の結果に基づき、評価と助言を行う

評価項目	具体的な取り組み	自己評価		学校関係者評価委員会	
		評価	こども園としての反省と改善策	評価	理由
教育・保育方針	[支援の必要な子どもに対する適切な対応] ・個々の子どもの発達の実態について職員間で共有する。事例検討会などを計画し、園全体でその子どもの育ちを支援する。	B	・クラス内での共有はできている。今後より細かな検討ができるようにしていきたい。 また、乳児・幼児・園全体での共有ができるようにしていくためには、まずは乳幼児リーダー会の中に検討会を位置付けていくようにする	A	・提示資料により出来ていると感じる ・重要な点を抑えて「共有」で良いのでは ・発達段階や障害種別のアプローチ方法、障害への理解知識があると対応がスムーズになります ・個別支援計画を立て、家庭と情報共有及び連携ができていて良い ・親への配慮もよくされていると思う
	[食育の計画を立て実践する] ・楽しく食事ができるように、環境を整え、情緒的安定を図る	A	・室内環境、人的環境を整え配慮している	A	・計画表がしっかりと書かれていて良い ・季節感を感じ、四季を感じる行事もありとても良い ・自分の目で見る、触れる、嗅ぐ等、良い体験の場を設けて頂けて感謝しています ・ベテランの栄養士が食育5領域を考慮している点が素晴らしい
	・栽培、収穫したものを使ってクッキングしたり、食べることを楽しむ	A	・栽培、収穫を子どもと共に保育教諭、栄養士がともに喜び、共同して食育実践をすることができている		
	・身近な食材などを知る体験ができるように年間計画を立てる。また、栄養士と保育教諭が共同し、保育/調理という隔たりをなくして子ども達の食育を計画・実践する	A	・年間計画に基づいた活動、実践ができている。上記同様、栽培、収穫を子どもと共に保育教諭、栄養士がともに喜び、共同して食育実践をすることができている		
	[キリスト教保育について理解を深める] ・聖書個所の年間計画、聖書の学び、礼拝を一貫したテーマのもとに実践する	A	・年間計画に基づいて、幼児組各クラス共にクラス礼拝及び合同礼拝を行っている	A	・計画的に行われていると感じる ・進捗状況が知りたい ・園だよりの記事や子どもの話を聞いて、こちらも知らなかった事や、考え方等学ぶことができている ・乳児のお祈りや讃美歌も計画されて良い ・聖書の学びは職員が消化してから子ども
	・キリスト教保育についての冊子を読み合わせながら研修を実践する	B	・毎月カリキュラム会議の際に園長よりキリスト教保育についての話が持たれている		

	<ul style="list-style-type: none"> ・園長、リーダー層での聖書の学びの時を持って理解を深める(月1回) 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月実施され、理解を深めることができている 		に卸すように出来たら良いと思います
評価項目	具体的な取り組み	自己評価		学校関係者評価委員会	
		評価	こども園としての反省と改善策	評価	理由
特色ある保育・教育の展開	[豊かな表現活動への参加を計画する] ・園内コンサートを実施する(年1回)	A	・保護者会の協力もあり、コンサートの機会を得られている	A	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会演技を見てしっかり行われていると実感 ・地域との結びつきの中で専門講師に学ぶ機会が持っている点が素晴らしい
	・講師を招き、子ども達に歌の指導を行う(年18回) また、地域合唱サークルの歌の鑑賞をする(年1回)	A	・講師(小川先生)による歌唱指導及び鑑賞の機会も持っている		
	・講師を招き、子ども達に日舞指導を行い、情操教育の一環とする	A	・日舞家元による職員への日舞指導及び子ども達への直接的な指導も実施されている		
	・講師を招き、音感教育として合奏への取り組みを行う(年3回)	A	・ドリームビー講師による指導が行われている		
	・地域ハーモニカサークルとの合同ハーモニカ奏を楽しむ(年1回)	A	・地域サークルの方々とのハーモニカ奏、演奏鑑賞、クリスマスには合同演奏を行うことができた。継続していきたい。		
	[育児について相談できる機会を広げる] ・保護者同士のつながりが深まるための方法として試食会等を設けて、リラックスしながら子育ての話ができる環境を作る	A	・誕生会試食会及び懇談会にて場を設けているとともに、幼児組については個人面談を年3回にしたことで、個々の成長を保護者と共に確認し合うことができている。また、子育ての話をする場としても利用している	A	<ul style="list-style-type: none"> ・面談の回数が増えることにより情報量が増え、とても良いと思う ・連絡帳があっても良い気もします(幼児) ・親同士が顔の見える関係でつながり、皆で子育てすることも園になって下さい
・保護者との個人面談の回数を増やす(年3回)	A	・年3回に増やしたことで、個々の成長をより細かく共有することができていると感じている			
保育環境の充実	[環境の見直し] ・乳児クラスの家庭的な落ち着いた環境を作るための見直しを行う	A	・クラスの子どもの動きや興味に合わせてクラス内模様替えを行い、落ち着いた環境づくりに努めた	A	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方たちに依頼しても良いのでは…(草取り等) ・四季を感じられる花壇にするのは大変だと思いますが、子ども達が足を止めるような花壇であつたらいいと思います ・乳児保育が充実し、幼児の教育の土台作りが乳児期からなされている点が良い
	・室内遊具、生活用品を整え、子ども達が主体的に遊び、生活する環境を整える	B	・毎日の遊具玩具点検により、危険な玩具や破損物等の確認をしている。また、子ども達の興味関心に合わせて遊具や生活用品の見直しをしているが十分とは言えない		
	・冷暖房の修繕等を進める	A	・12月中旬に1月号の冷暖房の改修工事が終了して快適に過ごせている		
	・園花壇(遊歩道側)の整備をし、四季の花のある環境を整える	A	・常時プランターに花が植えられるようにしている		

保護者・地域の取り組み	・誕生参観や、親子で遊ぶ会・行事への参加を促し、参加しやすい日程や保護者の都合がつく時間帯に合わせた懇談会の開催をする	A	・各行事の日程の事前通知および、幼児組個人面談については日程を3日間設け、保護者の希望を取って参加しやすいように設定している	A	<ul style="list-style-type: none"> ・要望に応じて行動に移しているのは素晴らしいと感じる ・保護者に対しての宣伝やアピールをもっとした方がよい ・小学生にもっとアピール(宣伝)していいと思います ・行事の内容は盛りだくさんで楽しく参加させてもらっています ・地域のニーズにこども園として応えていく姿勢が立派です
	・「コミュニティ広場」の継続と共に団地代表者との話し合いにより、地域の情報収集とニーズの掘起しを行う	A	・団地代表者との話し合いを執行し、情報収集を図り、次ステップへの取り組みに向けて検討中		
	・満2歳児のプレ保育への参加促しをしながら、保育教育に対する保護者の要望に応じていく	A	・園庭開放からの参加促し等により、昨年度に比べ、今年度は人数増。また、園見学者には必ずチラシの配布やお知らせをしている		
	・地域ボランティアとの協力(絵手紙)で団地一人暮らしの方への安否確認のお手伝いをする	A	・継続中		
	・デイサービス慰問を日常的に実施していく	B	・行っているが、頻度は少ないので単発にならないように継続を心掛けている		
	・小学生の遊びの場の提供ができるように工夫していく	A	・読み聞かせ会だけでなく、遊び場としての提供も今年度は取り入れ、小学生利用者からは好感触で、手ごたえ有		
評価項目	具体的な取り組み	自己評価		学校関係者評価委員会	
		評価	こども園としての反省と改善策	評価	理由
保育教諭の質の向上	[個々の子ども達にあった保育の展開ができる力を身につける] ・保育の計画(日案)評価をもとに課題を次の保育につなげられることを重視する(個々の成長との関わり)	C	・行っているが、課題を明確にして次につなげることは個人差があり、十分とは言えない	A	<ul style="list-style-type: none"> ・先生同士でのやり取りがあり、客観的な意見が言い合えるのではないかと思います ・フィードバックができるように! ・十分以上だと思う ・忙しい日々の中、全てを計画的に進めていくのは大変なことです。PDCAサイクルの評価というところを大切にしていってほしいです ・保育の質、教育の質、職員の質、何をもって質の向上とするのか、検討の余地があるように思われます
	・法人で策定のキャリアアップに即した保育の実践ができるように、学びの場を持つ。また、園内研修を持ち、保育の振り返りと共に、自らが学びたいことを深められるように意識の向上を図る	B	・毎月学びの場を設けている。園内研修も実施しているが、深まりや意識の向上にはやや欠ける		
	・全員のキャリアアップ研修参加を目指す	B	・研修申込を可能な限り行い、研修参加している		
入園児募集	[園の保育内容についてわかりやすく発信する] ・HPを通して、保育の行事や内容を定期的に提示できるようにする	B	・行事の内容等についてはブログ配信を通して定期的に行っている。ブログ配信はクラスに偏りが見られるので、偏りなく配信できるように心がけ、さらに改善していく余地有	A	<ul style="list-style-type: none"> ・先生たちにも課題点の意識があるのでよい ・1号園児の確保ができていて素晴らしいです
	・園のパンフレットを市や保健センター窓口で常時設置する	A	・市施設に訪れる方などあなたにでも手に取っていただく機会として設置し、広く園のアピールができるように常備してもらえるように努めている		
	・1号認定募集についてのパンフレット及び入園案内配布時期より前に提示し、定員の確保につなげる	A	・昨年度はギリギリの準備だったので、今年度はしっかりと行った。その結果、1号認定1名のスタートが2名と増え、次年度は5名となる。		
管 危機 理 機	[緊急時に対応できる行動計画を作る] ・感染症、事故、食物アレルギー発作に対応する実践的研修会を行う(年3回)	A	・看護師を中心に研修を行っている。また、蘇生法やAEDの使用法についても実践的研修をしている。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の協力意識が大切かと思う ・専門的な取組をされていてとても良いです

	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の職員の勤務についての基準を作りマニュアル(連絡網等)として明文化する 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・行っている(避難訓練用マニュアル火災、地震、風水害用紙に一時帰宅者、帰宅困難者等記載による。職員緊急連絡網有。保護者へは緊急避難用カードを渡済) 		
	<p>[親への説明や保育活動を行う]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場の安全について冊子を配布して説明を行う。ヒヤリハットの事例を園だより等でその都度、伝える。紙芝居を作成し、子どもたち自身の意識を高める 	C	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な呼びかけや園だよりでの連絡は行っている ・自園独自の子ども向け紙芝居の作成が未実施。今後作成予定。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルが作成されているので、あとは訓練と実践だと思う(あってはならないが…) ・駐車場の安全確保と保護者クレーム改善を!(車の混雑) ・親が迎えに行くと子どもだけで外に出してしまうことがある。家庭でも話は必要ですが、ルールとして園でも子ども達に対しても周知していくことが大切。 ・園内事故事例を紙芝居として蓄積していく計画を是非続けて下さい
	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭内の車道と歩道の区別をして、安全が守られるようにする 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・パーテーションベルトの工夫と敷石で簡単な歩道部分を作って対応した 		
評価項目	具体的な取り組み	自己評価		学校関係者評価委員会	
		評価	こども園としての反省と改善策	評価	理由
	<p>[保育者間の共通理解と連携を図る]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳児会、幼児会を勤務時間内に実施する。全保育者に内容を十分に伝えるために、全員を2グループにして実施する 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・共通理解の徹底を図るため、2グループに分けて実施している。午睡中に時間を区切って行ったり、時間が足りない時には2日に分けて行っている。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・頑張っていると思う ・試行錯誤がうかがえます ・時間内に行くことは大切だと思います ・会議の持ち方に工夫が見られてとても良い
	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて随時ミーティングが持てるように保育者全体で協力し合う体制を作る 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児と協力体制を持ちつつ、必要な時は随時ミーティングが行われている。 		
園経営全体の向上	<p>[保育準備・事務的作業の環境整備]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効率よく事務作業、書類整理等を行う手立てを考え、実行する(PCの保育室での使用を充実させる) 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・PC購入していただき、環境は整えられてきている 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に気付いているので、あとは実践 ・PCに慣れ、ペーパーレス化することで業務改善を! ・PC内のデータ管理に気を付けていく必要があります。小学校ではUSB等外にデータを持ち出せないようになってきました。個人情報を持ち出す際には必ず管理職の許可を得ています。PCはセキュリティレベルがかなり高いです。 ・PCマニュアルがあっても側において教えてくれる人がいないと使いこなせないのが実情かと思います ・掃除の目的を①きれいにする②危険を取り除く特に②を忘れないように!
	<ul style="list-style-type: none"> ・特に、職員間で共有する場所、物の整理整頓・管理を徹底し、作業の効率化を図る(作業しやすい環境を作る) 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・時々全体作業にて大掃除及び整理整頓を行いつつ、リーダー中心に整理整頓、無駄遣いを省くように注意喚起している 		

<p>[休暇の取りやすい環境を作る時間を意識した運営へ]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して長期的に見通し、実質超過勤務なしを目標にし、定数外保育士採用をすることにより、効率化を図り、生き生きとした勤務を目指す 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・定数外保育士採用に向けて、常にアンテナを張り、職員の実質超過勤務なしを目標に頑張っている。8月9日に入職者を1名ずつ採用でき、日々の勤務に少し余裕が出てきた 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての職業における課題 ・年96日→次年度120日！素晴らしい取り組みだと思います！ ・働き方改革と一言で言っても色々な問題があると思います。先生方の健康が第一です！子ども達は楽しく通うことができているので感謝です。 ・年間休日120日、週休2日制への取り組み期待しています
<ul style="list-style-type: none"> ・管理職者は労務管理についての知識を高め、一人ひとりの職員が効率を上げ、働きやすい職場環境づくりを目指す 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務時間内に仕事の効率を上げ、時間外に仕事を持ち越さないように、日々終了時間を伝え、帰宅を促し作業状況の把握に努めているが、全員が勤務時間内で帰宅できていない。 		
<ul style="list-style-type: none"> ・園長面接を丁寧に行い、問題・課題を早期に解決できるようにする 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧な面談により、職員個々の躰みや日々の取り組みについて把握及び相談に乗りながら、問題課題の解決に努め、職員もモチベーションを上げながら勤務している 		